

伊豆市

恋人岬ホワイトデースペシャル

愛が実る恋人岬では、アツアツなカップルを応援！ウェディングスタイルでの記念撮影など特典いっぱい。土肥温泉旅館組合ホームページ(<http://www.toi-onsen.com/>)から予約してください。
とき / 3月14日(土)9:00 ~ 15:00
問合せ / 伊豆市観光協会土肥支部
 電話 0558 98 1212

函南町

丹那ブラックアンドホワイトショウ

大切に育てた乳牛(ホルスタイン種)の美しさを競います。見学自由。
とき / 3月6日(金)9:30 ~ 12:00
ところ / 酪農王国オラッチェ芝生広場
問合せ / 函南東部農業協同組合営農経済課
 電話 055 974 0011

沼津市

天下の奇祭『大瀬まつり』

大漁と海の安全を願って大漁旗などで飾った船で、大瀬神社に参拝す

る漁師のお祭り。女装した男たちが船内で踊る勇み踊りは、見物です！
とき / 4月4日(土)7:30 ~
ところ / 大瀬神社

駿河湾名物『内浦漁港祭』
 地場産品の直売、マーチングバンド演奏などのイベントを開催。
とき / 4月4日(土)8:30 ~
ところ / 内浦漁港
問合せ / 内浦漁業協同組合
 電話 055 943 2316
 沼津市観光交流課
 電話 055 934 4747

三島市

港・湧水・せせらぎウォーク

三島市から清水町、沼津を巡る全長約15キロのウォーキングです。
 源兵衛川のせせらぎを感じ、柿田川で湧水を見学。狩野川沿いを歩いて沼津港に至る初春の水辺を歩きます。参加無料。事前申し込み不要です。直接受付へお越しください。
とき / 3月8日(日)
受付 9:00 ~ 10:00 楽寿園駅前広場
持ち物 / 筆記用具、タオル

問合せ / 三島市観光推進課
 電話 055 983 2656

清水町

生涯学習講座・教室受講生による**ステージ実践発表・展示発表会**
 記念公演としてヴァイオリンコンサートも開催します。入場無料。
とき / 3月14日(土)9:30 ~ 12:00
ところ / 清水町福祉センター
 多目的ホール
問合せ / 清水町社会教育課
 電話 055 972 6678

裾野市

富士山梅まつり

地元農産物の即売、梅シロップ無料配布(数量限定)、特産物が当たる梅くじ、梅干しの種飛ばしなど。
とき / 3月14日(土)
 *小雨決行、雨天順延。15日(日)も雨天の場合は中止
開会式 9:15 ~ 即売 9:30 ~ 13:30
ところ / 梅の里(ヘルシーパーク裾野隣)
問合せ / 裾野市農林振興室
 電話 055 995 1823



寺門さんも登場する『特集 幾久しく自分らしく』は、2ページから

介護予防事業は、私の『趣味』

寺門 敬夫さん

大仁クリニック院長

寺門さんは、脳外科医として順天堂大学附属静岡病院に十年以上勤めた後、昭和五十四年に大仁クリニックを開院。その傍らで、日本競輪学校の校医として、『運動』を学び、東洋醸造(現・旭化成ファーマ)の産業医として、『健康』を見守り、特別養護老人ホーム施設長や老人福祉センター設立で高齢者、『介護』に携わるなど、医師として多方面で活動してきました。しかし四年前、働き過ぎがたたって大動脈乖離に。自分自身が一年間、病院のベッドで寝たきりの生活を送りました。退院して一年後、市の高齢者支援課から、お年寄りへの講話をボランティアで依頼されました。そのとき、自らが寝たきりから脱出した経験や、介護予防などについて語ったところ、お年寄りがみん

な喜んでくれたそうです。当初は五十人だった講話も、噂が噂を呼び、現在まで二年間で市内のみならず、裾野市、三島市、伊豆市なども含め百回以上、述べ七千人以上の前で講話をしました。「運動・健康・介護と、今まで自分が医師としてやってきた集大成が、『介護予防』なのです。僕は入院中に死にかけて生きる意味を考えたとき、やりたいことをやって、後悔のない人生にしようと思いましたが、介護予防事業は、僕にとって『趣味』なんです」と笑います。寺門さんは今も、公民館や集会所、市内外問わず、どこへでもボランティア講演にでかけます。そこに、話を求めているお年寄りがいる限り、寺門さんの『趣味』が終わることはありません。

MY WAY

補助対象者 自宅にシステムを設置する個人で、電力会社と電灯契約をしている人
補助対象システム 最大出力が10、ワット未満で、かつ価格が1、ワット当たり70万円(税抜き)以下である住宅用太陽光発電システム
補助金額 モジュールの出力1、ワット当たり7万円

経済産業省では、一月から『住宅用太陽光発電導入支援対策補助金』を設けました。この補助金は、地球温暖化対策強化のため、今後家庭における太陽光発電を大幅に拡大しようという方針に基づくものです。今回は、この制度の概要を紹介します。申請はシステム設置前に限ります。ぜひご利用ください。



交付申請窓口 静岡県地球温暖化防止活動推進センター
 〒410-0033 静岡市葵区昭和町6-3
 電話 054(273)7780
制度全般についての問合せ
 太陽光発電普及開発センター
 電話 043(239)6200

*一般的なシステムでは、5万円程度となります。
申請方法 太陽光発電普及開発センターのホームページ(www.jp-pec.or.jp)から申請用紙をダウンロードして、交付申請窓口まで郵送または持参。
申請締切 三月三十一日(火)
 *ただし、交付予定額が予算枠に達した時点で受付終了となります。

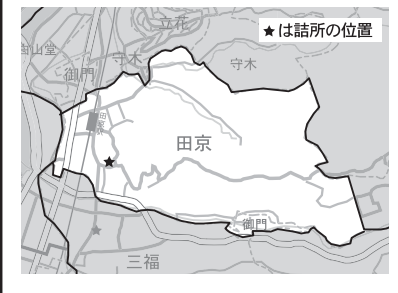
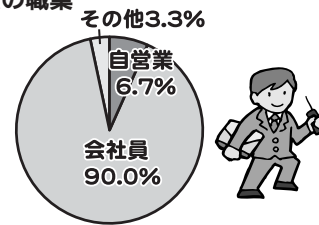
実践 Eco Life



問合せ 市役所環境政策課
 電話 055 949 6804

第11分団 DATA

管轄区域 田京(1,307世帯 / 3,467人)
分団長 鈴木一雄(田京)
副分団長 渡邊佳史(田京)
団員数 30人(うち支援団員7人)
団員の平均年齢 25.1歳*
団員の職業



*正・副分団長、支援団員を除いた現役団員の年齢



例大祭の山車運営でも、地域に欠かせない存在の第11分団

Go! Go! 消防団

第11分団

伊豆の国市消防団第十一分団は、旧・大仁方面隊第四分団が名称変更しました。管轄区域は田京で、住宅が多く、田京駅周辺や国道一三六号沿いには商業地域や医療施設、市役所大仁庁舎等があります。本部行事以外で第十一分団の最も大きな活動は、毎年十一月三日の広瀬神社例大祭です。周辺五区が参加するこの大祭の、主に山車に関する企画・運営区の山車運行、交通規制などは、伝統的に第十一分団が任されており、地域にとって欠かせない存在となっています。(鈴木分団長より)「消防団(組織)としての役割、団員としての役割、独立分団として自分たちがどう行動すべきかをスローガンに、団員一人ひとりが『自覚』を持って活動しています。その中で得た多くのものは、決して他では学ばれません。大変だけど、楽しい消防団活動に、あなたも参加しませんか。また、地域の皆さんには今後とも温かいご支援をよろしく願います。」